

## 第 4 章 生活習慣病の状況

この章に掲載したデータは、主に「国保データベース（KDB）システム」による統計情報を用いています。

## 第4章 生活習慣病の状況

### 1 疾患別医療費

札幌市国保の総医療費に占める入院医療費では、悪性新生物が21.2%、循環器疾患が18.6%となっており、循環器疾患では、虚血性心疾患が4.5%、脳梗塞が2.8%を占めています。外来医療費では、糖尿病が7.8%、高血圧症が6.6%、脂質異常症が4.3%となっています。また、入院と外来を合わせると、慢性腎不全（透析有）も上位にあがっています。

狭心症・脳梗塞・慢性腎不全は、基礎疾患である糖尿病・高血圧症・脂質異常症等の疾病が重症化した疾患といえるため、これらの疾患を予防することで、医療費の増加を抑えることができると考えます。

図31 大分類別医療費（入院）（%）

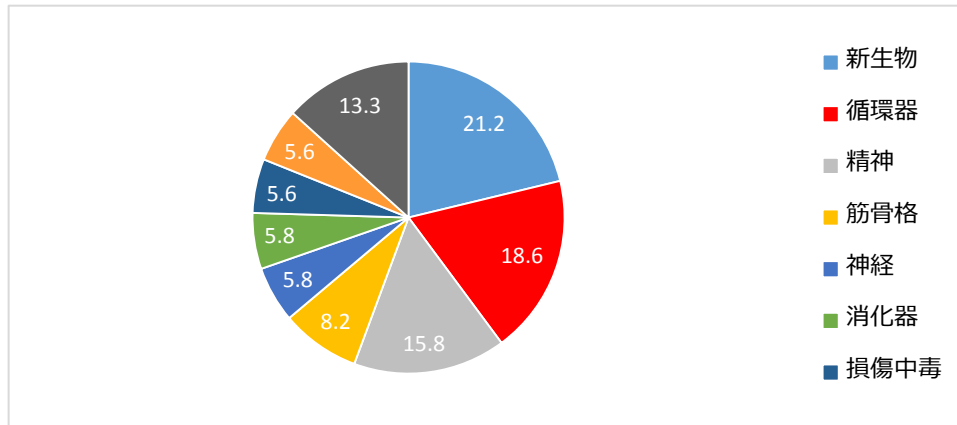


表5 中分類別分析及び細小分類分析（入院）

中分類分析 (%)				細小分類 (%)	
新生物	21.2	その他の悪性新生物	7.8	膵臓がん	0.9
				食道がん	0.7
				前立腺がん	0.6
		気管、気管支及び肺の悪性新生物	3.0	肺がん	3.0
良性新生物及びその他の新生物	2.1	子宮筋腫	0.3		
循環器	18.6	その他の心疾患	5.4	不整脈	2.3
				心臓弁膜症	0.7
		虚血性心疾患	4.5	狭心症	3.4
脳梗塞	2.8	脳梗塞	2.8		
精神	15.8	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9.4	統合失調症	9.4
		気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	2.6	うつ病	2.6
		その他の精神及び行動の障害	1.2		
筋骨格	8.2	関節症	2.5	関節疾患	2.5
		脊椎障害（脊椎症を含む）	1.9		
		その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1.4		

※細小分類については主な疾患を記載

## 第4章 生活習慣病の状況

図 32 大分類別医療費（外来） (%)

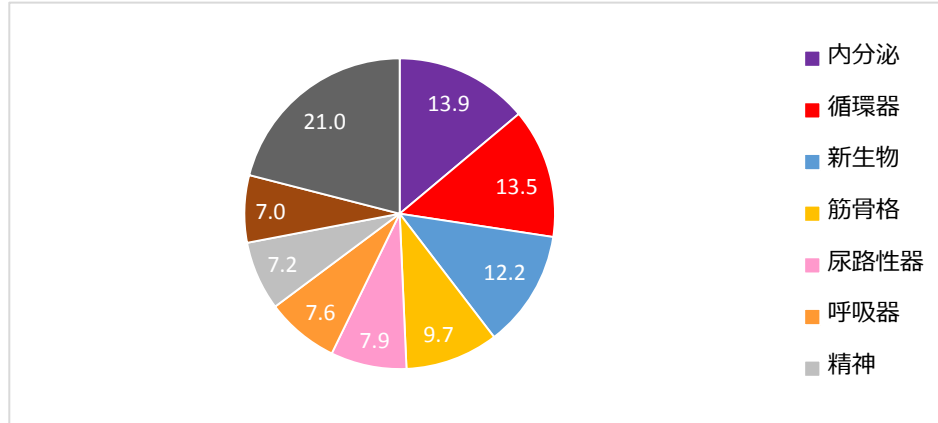


表 6 中分類別分析及び細小分類分析（外来）

中分類分析 (%)				細小分類 (%)	
内分泌	13.9	糖尿病	7.8	糖尿病	7.8
		その他の内分泌、栄養及び代謝障害	5.4	脂質異常症	4.3
		甲状腺障害	0.7	甲状腺機能亢進症	0.2
循環器	13.5	高血圧性疾患	6.6	高血圧症	6.6
		その他の心疾患	3.4	不整脈	2.0
		虚血性心疾患	1.6	狭心症	1.4
新生物	12.2	その他の悪性新生物	4.1	前立腺がん	1.0
				腎臓がん	0.4
				膵臓がん	0.4
		気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.9	肺がん	1.9
乳房の悪性新生物	1.8	乳がん	1.8		
筋骨格	9.7	炎症性多発性関節障害	2.4	関節疾患	2.3
				痛風・高尿酸血症	0.1
		骨の密度及び構造の障害	1.8	骨粗しょう症	1.8
		関節症	1.6	関節疾患	1.6

※細小分類については主な疾患を記載

表 7 【入院+外来】細小分類

順位	疾患	順位	疾患
1	統合失調症	6	うつ病
2	糖尿病	7	肺がん
3	関節疾患	8	脂質異常症
4	高血圧症	9	狭心症
5	慢性腎不全(透析あり)	10	大腸がん

## 第4章 生活習慣病の状況

### 2 医療費が高額になる疾患

総医療費に占める各疾患の医療費の割合について、上位10疾患をあげると、慢性腎不全（透析あり）が、40～74歳では第3位に、40～64歳では第1位となっています。

図34 40～74歳の上位10疾患（総医療費に占める割合）

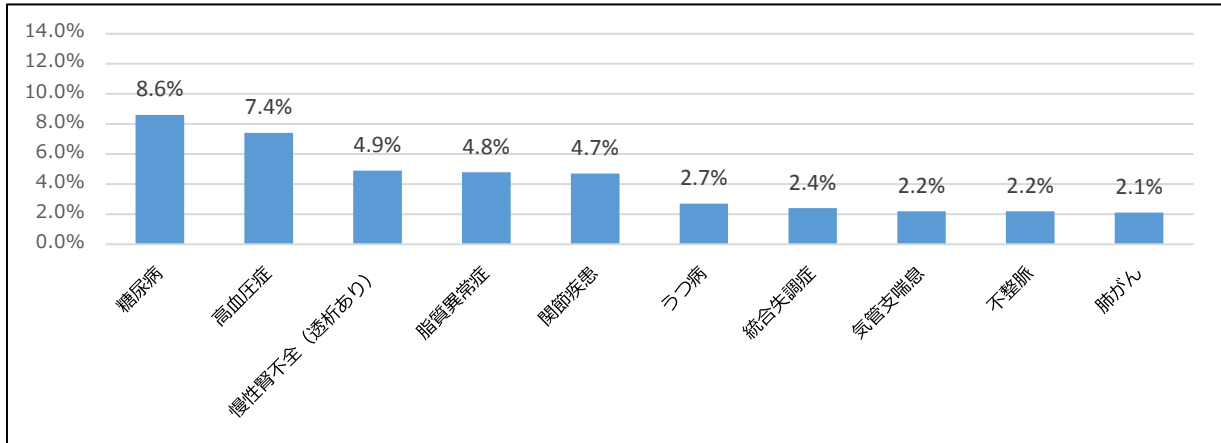


図35 40～64歳の上位10疾患（総医療費に占める割合）

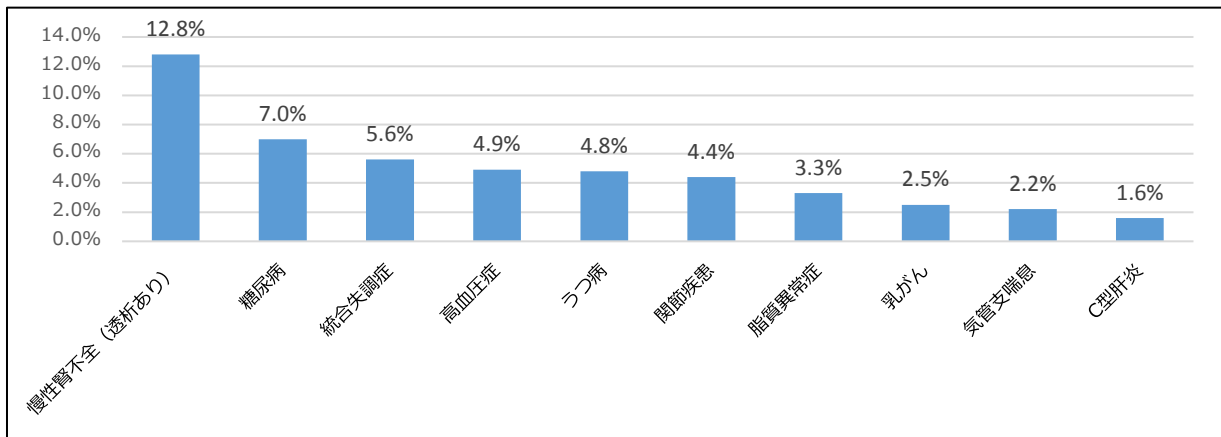
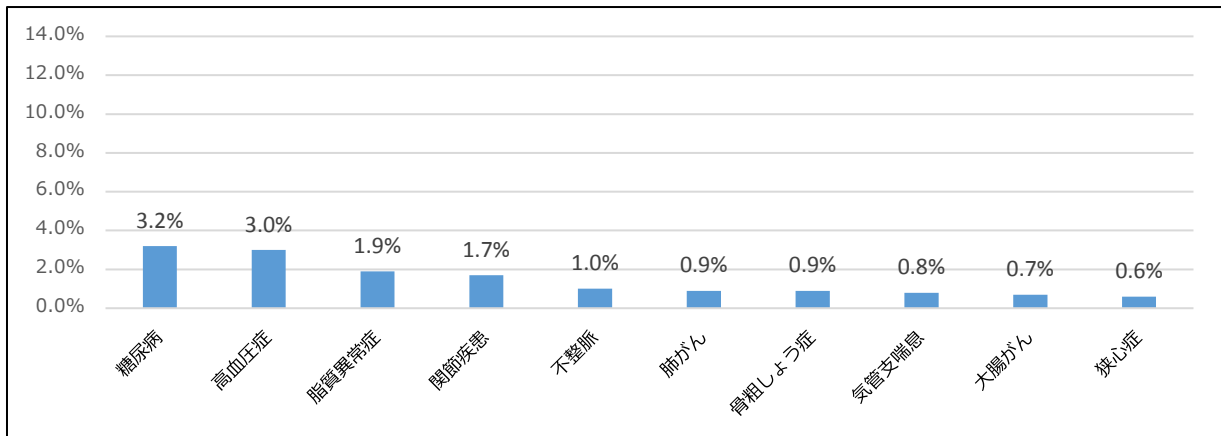


図36 65～74歳の上位10疾患（総医療費に占める割合）

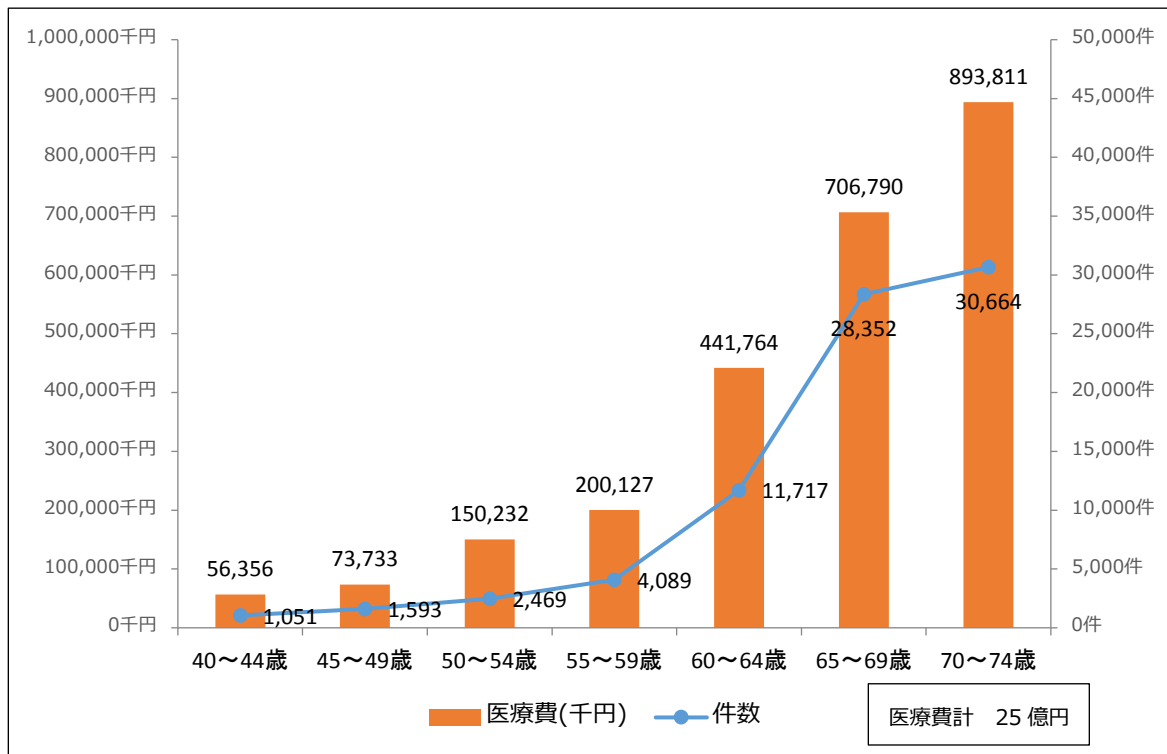


※65歳以上の人工透析患者および統合失調症・うつ病等の精神疾患患者の多くは、後期高齢者医療保険制度に加入するため、これらの疾患の65歳以上の患者数が減少しています。

### 3 メタボリックシンドローム関連の疾病

メタボリックシンドローム関連疾病の件数と医療費を年齢階層別にみると、70～74歳が30,664件と40～44歳の29.4倍となっており、年齢が高くなるにつれて、件数も医療費も増加しています。

図33 メタボリックシンドローム関連疾病の状況（平成27年6月）



出典：札幌市保健福祉局保険医療部

#### 【メタボリックシンドロームの重症化により発生する疾病】

糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患（高脂血症、高尿酸血症含む）、高血圧性疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化（症）、その他の脳血管疾患、動脈硬化(症)、その他の循環器系の疾患、アルコール性肝疾患、腎不全

※医療費は、上記の疾病名を含むレセプトの医療費の合計であるため、それ以外の疾病も同じレセプトにある場合は、その医療費も含まれている。

## 第4章 生活習慣病の状況

### 4 被保険者における生活習慣病の罹患の状況

生活習慣病により治療を受けている被保険者について、平成29年5月診療のレセプトでは、糖尿病9.7%、高血圧症16.7%、脂質異常症14.8%、また、脳血管疾患3.0%、虚血性心疾患4.1%、糖尿病性腎症0.6%、人工透析0.2%となっており、全体的には増加傾向にあります。

北海道・国との被保険者千人当たりレセプト件数の比較においては、大きな差はありませんでした。

図20 生活習慣病の罹患状況の割合

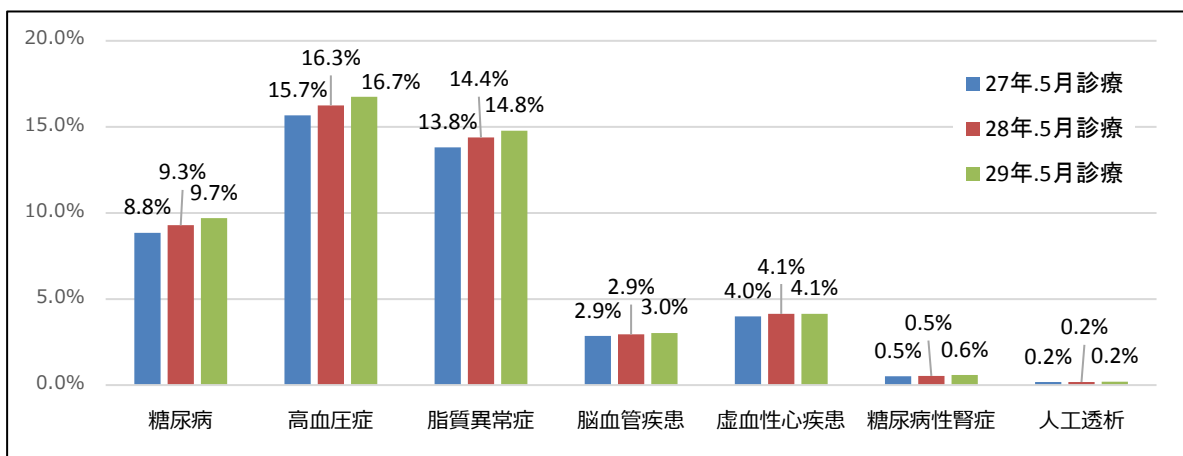


図21 被保険者千人当たりレセプト件数（入院）

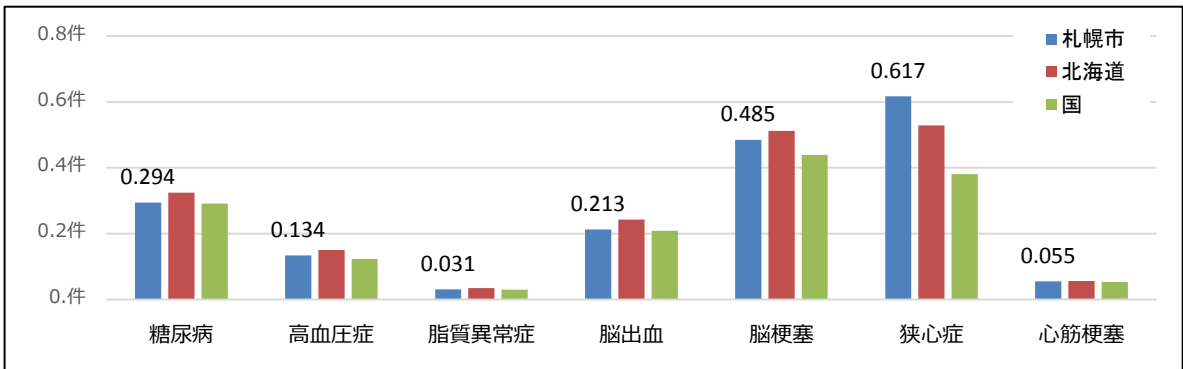
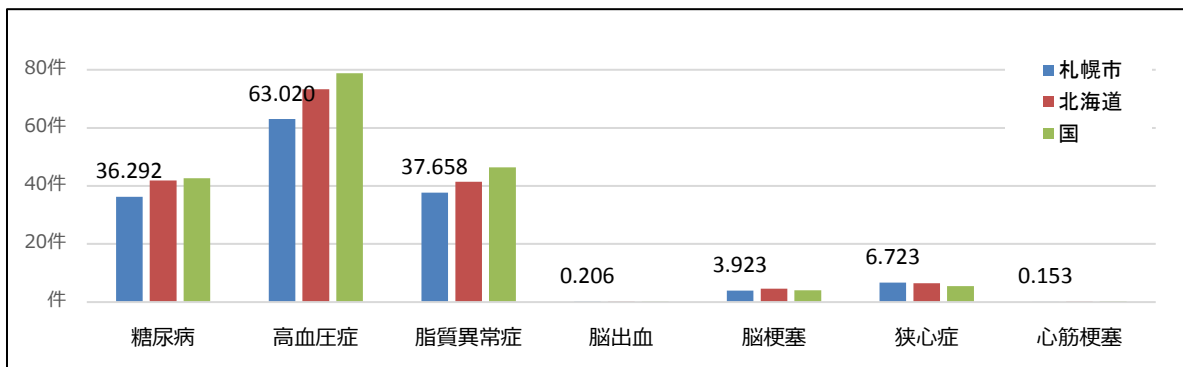


図22 被保険者千人当たりレセプト件数（外来）



5 外来のレセプト件数

脂質異常症・高血圧症・糖尿病・慢性腎不全（透析あり）の4疾患について、外来の生活習慣病千人当たりレセプト件数を年齢別・男女別に見ると、いずれの疾患も、男女ともに年齢が高くなるにつれて増えていますが、慢性腎不全（透析あり）の件数は、他の3疾病よりも少なくなっています。

(1) 脂質異常症 外来 1,000人当たりレセプト件数（診療月：H27.5、H28.5）

図23 男性（40～74歳）

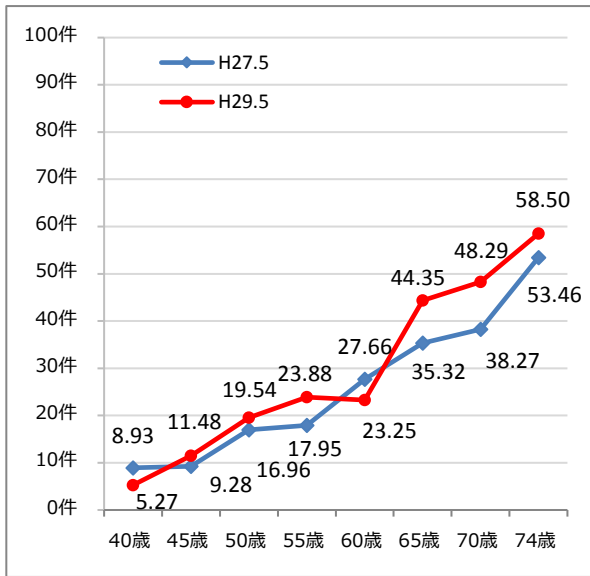
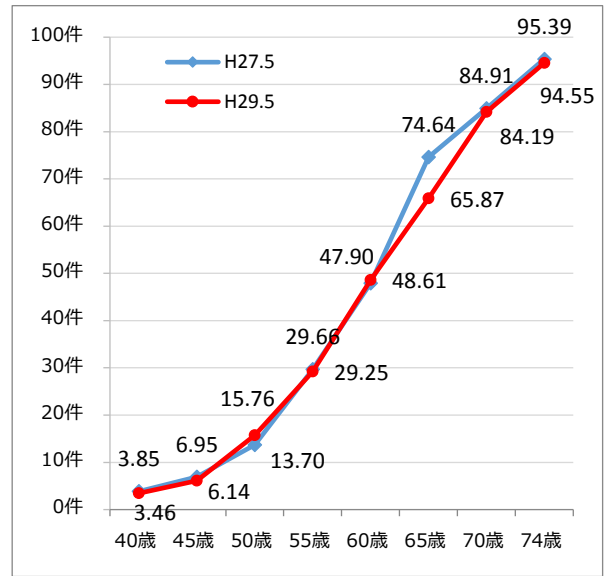


図24 女性（40～74歳）



(2) 高血圧症

図25 男性（40～74歳）

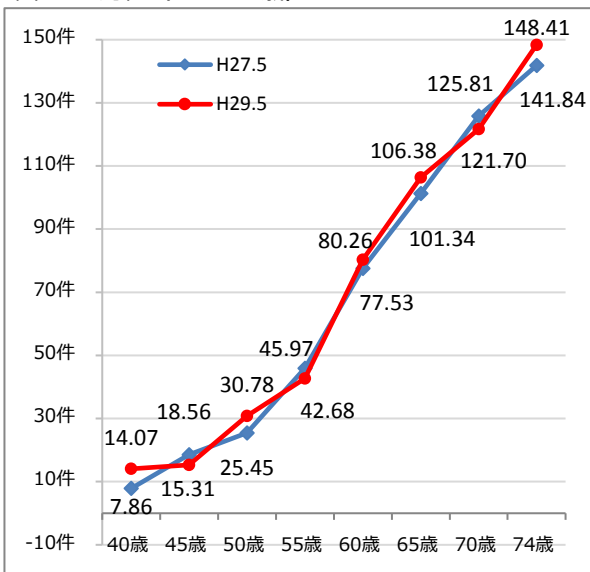
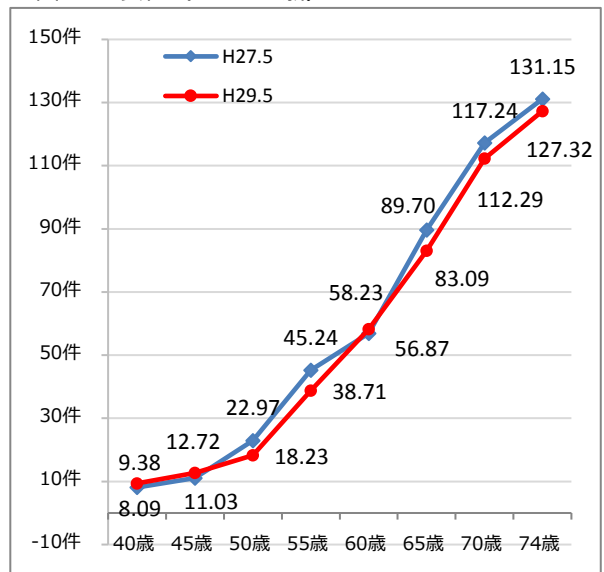


図26 女性（40～74歳）



## 第4章 生活習慣病の状況

### (3) 糖尿病

図27 男性（40～74歳）

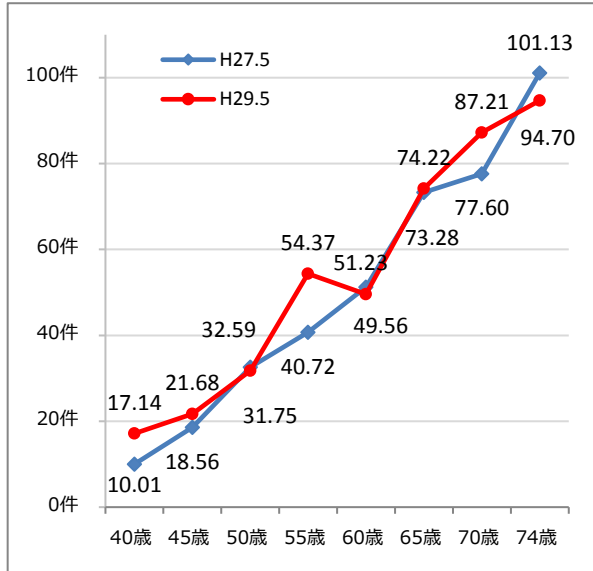
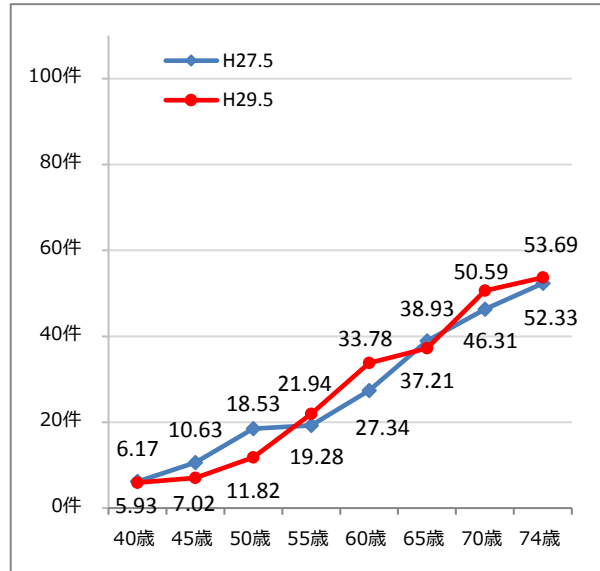


図28 女性（40～74歳）



### (4) 慢性腎不全（透析あり）

65歳以上の人工透析患者の多くは、後期高齢者医療保険制度に加入し国民健康保険を脱退するため、これらの疾患の65歳以上の患者数が減少しています。

図29 男性（40～74歳）

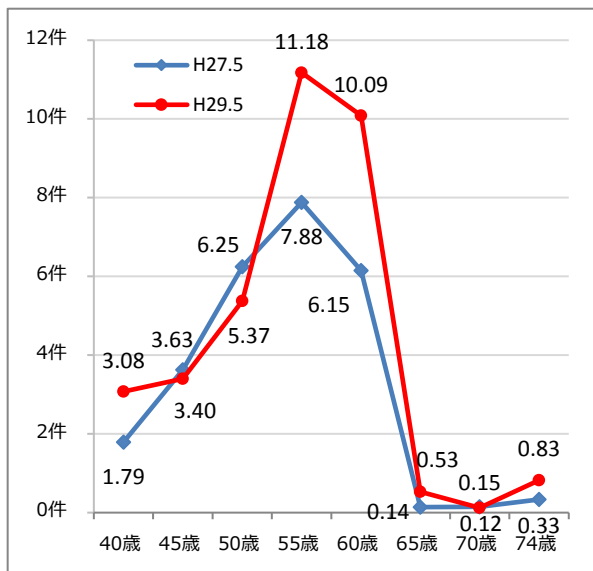
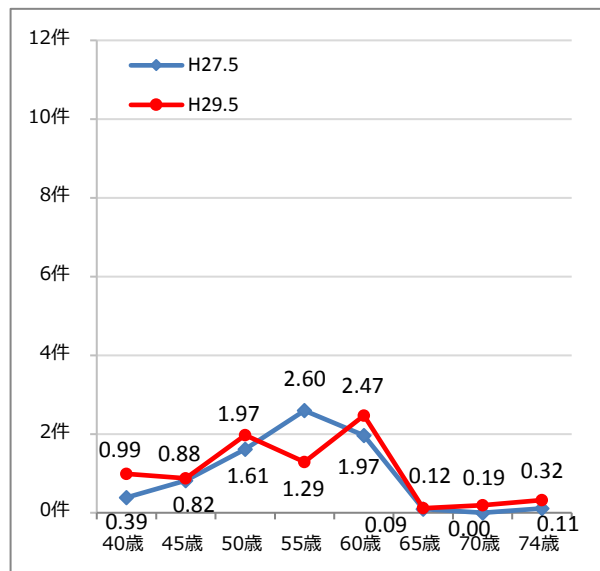


図30 女性（40～74歳）





## 6 人工透析の状況

被保険者で人工透析のレセプトを持つ人は、40歳代から増加していますが、患者千人当たり人工透析新規患者数は、北海道・国と比較すると少ない状況です。

表10 人工透析と判定したレセプトを持つ被保険者数

診療月	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
H27年5月	2	35	110	276	343	15	34	815
H28年5月	5	35	106	277	292	23	23	771

表11 患者千人当たり人工透析新規患者数（当月発症）

	札幌市	北海道	同規模	全国
平成27年度	0.098	0.126	0.115	0.120
平成28年度	0.099	0.123	0.119	0.122

## 7 慢性腎臓病（CKD）のリスク分布

日本腎臓病学会のCKD重症度分類に基づき、平成27年度及び28年度の特定健診の受診結果における腎機能についてみると、CKDの中・高リスク者は約3%を占めています。また、中・高リスク者の治療状況では、「治療なし」が約3割となっています。

図37 慢性腎臓病（CKD）のリスク分布と中高リスク者の治療状況

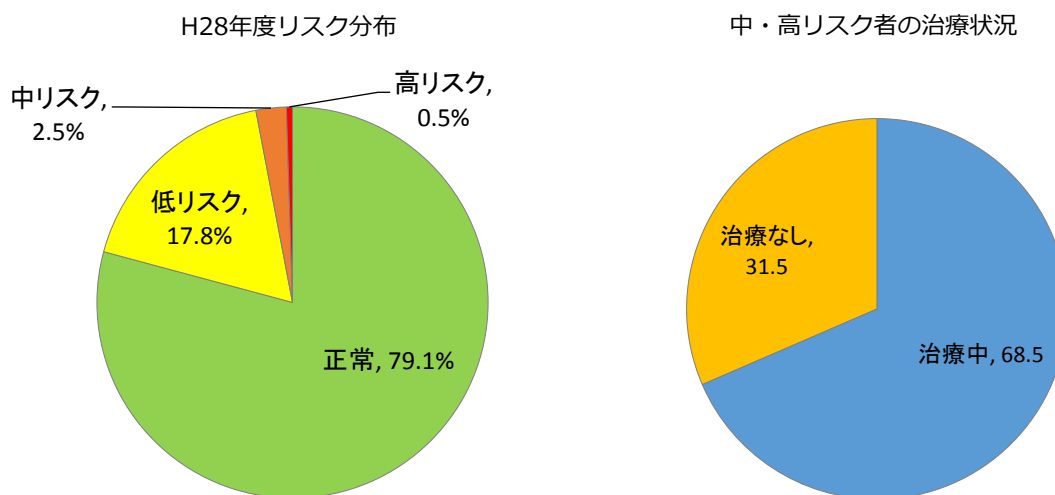


表9 慢性腎臓病（CKD）のリスク分布表

GFR 区分(ml/分 1.73 m <sup>2</sup> )	尿蛋白区分		
	(-)or(±)	(+)	(2+)以上
90以上	正常	低リスク	中リスク
60～90未満		低リスク	中リスク
45～60未満	中リスク	高リスク	高リスク
30～45未満	高リスク		
15～30未満	高リスク	高リスク	高リスク
15未満			

※リスクの程度が上がるにつれて、末期腎不全や心血管死亡のリスクが高くなります。

8 重症化予防の対象者

特定健診の結果、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病腎症予防のための各学会のガイドラインに基づいた重症化予防対象の基準値となった人の割合は27.9%となっています。

表8 健診受診者の重症化予防事業対象者数（平成28年度）

	重症化予防対象基準値	対象者		基準値の根拠
		人数	割合	
高血圧症	Ⅱ度高血圧以上	2,925	4.8%	高血圧治療ガイドライン2014 (日本高血圧学会)
心房細動	心房細動	416	0.7%	
脂質異常症	LDL-C180mg/dl以上	3,548	5.8%	動脈硬化症疾患予防ガイドライン 2012年版(日本動脈硬化学会)
	中性脂肪300mg/dl以上	1,629	2.7%	
メタボリック シンドローム	メタボ該当者(2項目以上)	8,666	14.2%	メタボリックシンドロームの診断 基準
糖尿病	GbA1c(NGSP)6.5%以上 (治療中7.0以上)	3,072	5.0%	糖尿病治療ガイド2016-2017 (日本糖尿病学会)
慢性腎臓病 (CKD)	尿蛋白(2+)以上	686	1.1%	CKD診療ガイド2012 (日本腎臓病学会)
	eGFR50未満70歳以上40未満	1,079	1.8%	
重症化予防対象者(実人数)		16,985	27.9%	

